

2024年9月30日

各位

株式会社三井住友銀行

岡本土石工業株式会社に「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、岡本土石工業株式会社（代表取締役：岡本 一彦）に「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施いたしました。

「SMBC 社会課題解決推進支援融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業の社会課題解決に向けた取り組み状況を確認した上で、①組織の社会課題への取り組み姿勢等に対する所見と、②ロジックモデル（事業活動を通じた社会課題への道筋が見える化したもの）の仮説を提示し、今後の取り組み推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、岡本土石工業株式会社については、以下に記す事業を通じた社会課題解決について、取組推進に向けたアドバイス等を提供しました。

① リサイクル骨材の製造・販売による地域内資源の有効利用

事業内容	コンクリート殻、アスファルト殻、木くず等の廃材を原料としたリサイクル骨材を、道路の路盤材を主な用途としてゼネコン等に販売されています。顧客は、砕石路盤材とリサイクル路盤材をワンストップで購入することができます。
当該事業を通じて解決を目指す社会課題の概要	国内では年間約4千万tの一般廃棄物、約3億8千万tの産業廃棄物が排出されていますが（2022年度）、廃棄物処理施設の老朽化や、地域の人口減少・高齢化に伴う担い手不足により、持続可能な廃棄物処理体制の構築が課題となっています。一方、日本の一般廃棄物リサイクル率は19.6%であり（2022年度）、計算方法の違いを差し引いても欧州各国より低い状況です。またリサイクル率は10年以上伸び悩んでいます。
社会課題解決への貢献内容	工場近辺からコンクリート殻等を調達してリサイクルし、主な用途は地域の公共事業であることから、地域内の資源循環において重要な役割を果たされています。また、排水の浄化と循環利用、道路敷設工事に伴う伐木のバイオマス燃料化など、地域内の資源の有効活用に幅広く貢献しておられます。

② 河川堆積物を原料とした骨材製造による水害予防への貢献

事業内容	骨材の原料として調達するヴァージン素材のうち約6割を、熊野川等の河床に堆積した土砂から調達されています。国交省が採取した土砂へ入札されているほか、自ら申請して採取されるエリアもあります。
------	---

<p>当該事業を通じて 解決を目指す 社会課題の概要</p>	<p>気候変動の進展に伴い、自然災害が今後さらに激甚化・頻発化すると懸念されます。災害からの被害を小さくするため、防災・減災インフラ等の整備が進められてきましたが、老朽化による被害も懸念されています。災害への事前の備えとしては、ハード面の整備に加え、日頃からの訓練や防災意識向上など、ソフト面の対策も必要です。また、少子高齢化に伴い、災害発生時・発生後の高齢者のケアが課題となっています。</p>
<p>社会課題解決 への貢献内容</p>	<p>浚渫の促進を通じて、地域の河川の河積を維持増大させ、豪雨時等の水害の防止に貢献されています。特に近年は気候変動により集中的な豪雨が増加しているため、地域においてきめ細かく河川の状態を確認し、土砂を採取することの重要性がさらに高まる可能性があります。</p>

株式会社三井住友銀行では、「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を通じて、お客さまの幅広い社会課題解決に向けた取組を支援することで、お客さまとともに社会的価値創造の好循環を生み出す取組を推進してまいります。

以 上